

## 中高年期の社会的格差と社会保障の役割に関する研究

平岡 公一（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

①国際比較の視点から見たわが国の高齢者福祉・介護政策の展開過程の特質に関する研究、②貧困・社会的排除に関わる政策の国際的展開に関する研究、③中高年期における健康の社会的格差に関する研究という3つのテーマに即して、研究を進めた。

①については、平成19年度末に科学研究費の報告書をまとめたのに続き、平成20年度より新たに科学研究費の助成（基盤研究B）を受け、社会福祉・介護サービスの質の確保策に関する研究に取り組んでいる。その成果の一端は、（平岡、2008a; 2008b; 2008c）にまとめた。

②については、諸外国の貧困・社会的排除に関わる政策動向の把握と国内外の文献のサーベイを中心に研究を進め、その成果をふまえて、関西地域の研究者を招き、公開研究会「社会的排除／包摂をめぐる一格差是正をめざす理論と政策―」（2008年12月21日）を企画・実施し、指定討論者をつとめた。

③については、文献サーベイに基づき、わが国の医療制度および高齢者の社会経済的状況の特質に即した研究枠組みの設定についての検討を行うとともに、3つのデータセット（654サンプルの東京都高齢者のデータ、1,053サンプルの全国高齢者のデータ、641サンプルの小田原市中年女性のパネルデータ）を利用した実証分析に取り組んでいる

東京都高齢者のデータを用いた研究においては、社会的排除リスク指標と健康関連指標の相関の分析を行い、社会的排除リスクの高さと、不健康、健康維持習慣の欠如、医療アクセスにおける不利の間に関連があることが明らかになっている。今後、さらにライフコース要因との関連の分析を進める計画である。

### （文献）

平岡公一（2008a）「介護保険の政策評価の動向」『社会政策研究』第8号、155～165頁。

平岡公一（2008b）「介護サービスにおける「評価」の動向と課題——サービスの質の確保策とのかかわりで」藤崎宏子・平岡公一・三輪建二編著『ミドル期の危機と発達——人生の最終章までのウェルビーイング』金子書房、241～258頁。

平岡公一（2008c）「ケア市場化の可能性と限界」上野千鶴子・大熊由紀子・大沢真理ほか編『ケア その思想と実践5・ケアを支えるしくみ』岩波書店、125～142頁。